

## 景観アドバイザーからのご意見

総括のご意見をいただきました。



石川 初氏

慶應義塾大学  
環境情報学部教授  
調布市景観審議会委員  
調布市景観アドバイザー

- アンケートの回答には子どもたちの本音がみられ、非常に面白かった。
- 一人ひとりが景観を自分にとって切実なものと感じて暮らしていることを感じることができ、調布の持つ景観の豊かさが表れていた。
- これだけ多くの景観カードが作れるということは、一人ひとりが異なる「調布らしい景観」を感じている表れであり、調布が持つ多様な環境や景観資源の存在を示している。
- 本日ピックアップされた景観の中には有償でないと享受できないものもあり、「景観の商品化」が懸念されるが、一方で誰でも享受できる景観が豊かに残る調布市の状況は1つの救いである。
- 一人ひとりが自分の場所を見つけることができるような余地があることが、調布のこれから作っていく計画のルールにも反映されるとよい。
- 一般的に知られるシンボルの外側にも、多くの豊かな景観が存在することが示された。それらは子どもたちの体験に根付いた景観であり、我々は今後もこうした体験の受け皿となる環境を維持、継承していく必要がある。

## 検討会の様子



## 第4期市民検討会 次回開催予定について

### 小学校区別の「身近な景観まちづくり」方針をまとめよう！

- 第2～7回までの検討結果を踏まえた取りまとめ案に対して皆さんのお意見やアイデアをいただき、取りまとめ最終案に反映します。その後、改定を進めている調布市景観計画に反映します。
- 開催日は11/26（水）、12/5（金）を予定しています。

調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせしていきます。

発行：調布市都市整備部 まちづくり推進課 開発景観係

Tel : 042-481-7442 Fax : 042-481-6800 Email : keikaku@city.chofu.lg.jp

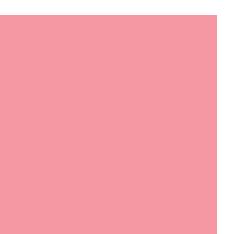
# ちようふ景観だより

第68号  
令和7年  
12月4日発行



## 子どもたちに聴きました

「みんなは調布のどんな景観が好きですか？」



## 子どもの視点に立って、景観の特徴を取りまとめました

今回の市民検討会では、協働による身近な景観まちづくりの検討として、市内の小中学生を対象に実施した景観に関するアンケートの結果をもとに、4グループに分かれ、子どもの視点に立って調布の景観が有する特徴や傾向を捉えなおし、取りまとめました。

意見交換にあたっては、慶應義塾大学石川研究室にも参加していただきました。

協働による身近な景観まちづくりとは…

調布市景観計画では、より身近な地域として市内にある20の小学校の校区単位に、特性や景観資源、方針（案）などを示し、市民との協働による身近な景観まちづくりを目指しています。

※詳細については調布市景観計画第11章参照

## アンケートへのご協力ありがとうございました

子どもたちが良いと感じる景観の場所やポイントを聴取し、その傾向等を把握する目的で、市内の小中学生（小学5年生、中学2年生）を対象にアンケート調査を実施しました。

### 【実施概要】

対象：市内の小学5年生（20校）約2,000名、中学2年生（8校）1,500名  
方法：学習用タブレットより、Webフォームを通じて回答  
期間：7月18日～9月10日

### 【集計結果】

小学5年生：約1,160名（全体の約57.7%）  
中学2年生：約630名（全体の約44.4%）

# 令和7年度 調布市景観まちづくり市民検討会

子どもアンケートの結果をもとに、子どもの視点に立った調布の景観の特徴や傾向等について、検討会の皆さんが様々な角度から意見交換を行いました。

## 検討テーマ① 「好きな」景観と「もっとこうなったらいい」景観の特徴を明らかにしよう！

全体的な傾向と東西南南北4エリア別の傾向を比較し、各エリアの特徴や傾向を明らかにしました。

### アンケートの結果

Q1:次の写真を見て、あなたが好きだと思う調布市の景観を教えてください。

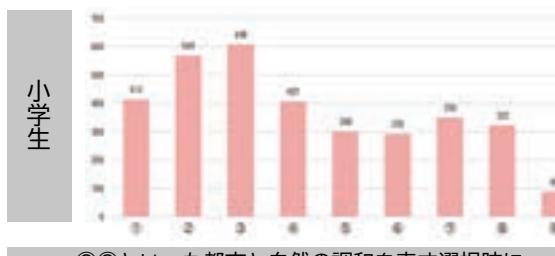
- |                               |                                |
|-------------------------------|--------------------------------|
| ① 田んぼや畑の風景や、緑が豊かで草花が多く咲いている景観 | ⑤ 駅の近くなど、人でにぎわう景観              |
| ② 多摩川、野川などの川の水辺の景観            | ⑥ 地域のお祭りや、地元の皆さんが開催するイベントなどの景観 |
| ③ 広い空間と緑がある、駅前の景観             | ⑦ その他                          |
| ④ 神社やお寺などの、歴史ある街なみの景観         |                                |



①②といった自然的景観に比較的多くの回答がありました。

Q2:あなたが住んでいる家のまわりで「もっとこうなったらいい」と思う景観を教えてください。

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| ① 田んぼや畑など、のどかな景観を多く残してほしい                 | ⑥ 高い建物や電柱などがなく、遠くまで見晴らしの良い景観にしてほしい |
| ② 森林や川の近くの草花、土手の桜並木などを今そのまま残してほしい         | ⑦ お寺や神社などの歴史ある景観を守ってほしい            |
| ③ まちの中に緑が多くある、落ち着いた景観にしてほしい               | ⑧ 昔から続くお祭りやイベントが、将来も続いてほしい         |
| ④ 高層ビルやショッピングセンターが多くある、都会的なまちにしてほしい       | ⑨ その他                              |
| ⑤ 建物の色づかいや、看板・ポスターの大きさなどが整った、きれいな景観にしてほしい |                                    |



②③といった都市と自然の調和を表す選択肢に、多くの回答がありました。



①②のほか、④に多くの回答がありました。



③に多くの回答があり、小学生と同様の傾向を示しました。

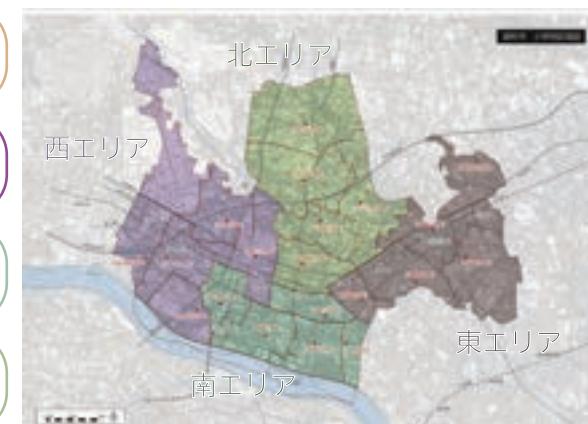
### 各エリアの特徴や傾向の分析

- 東エリア（1班）  
・田んぼやまち中の緑に関する回答が多い。  
・市内の特徴的な景観がコンパクトに詰まっている。

- 西エリア（2班）  
・比較的、お祭りやイベントに関する回答が多い。  
・大小様々なお祭りが長年残る、歴史あるエリア。

- 南エリア（3班）  
・他の地域と比べて、回答の偏りが少ない。  
・自然と都会的な空間の両方への愛着が読み取れる。

- 北エリア（4班）  
・深大寺をはじめとした、寺社に関する回答が多い。  
・深大寺周辺に大きく残る、自然に関する回答も多い。



## 検討テーマ② 子どもたちが感じる「良い景観」を共有し、その特徴や傾向を言語化しよう！

アンケート設問「ほかの人にも見てほしい場所」の回答が落とし込まれた【景観カード】を見て、子どもが感じる調布市の景観の特徴や傾向等を読み取り、設定したテーマに沿って取りまとめました。

### 1班テーマ 「あえてのちようふ」

#### 主な意見

- 有名な場所ではなく、市周縁部の景観が多く目に留まった。
- 「自分で名前を付けたこびと公園」「名前はわからないけど落ちつく神社」など、子どもならではの目線が面白い。

#### 特徴・傾向

- ①視覚的)  
「キャベツ畑」「夕日」「赤い」など、【色】に着目した景観
- ②感情移入)  
「橋梁の頑張り」への感情移入など、【自分の体験】を伴う景観
- ③ストーリー性)  
橋や桜など、同じ題材にも【個々で異なる視点】で見られる景観
- ④人の営みを感じる活動)  
「盆踊り」「お菓子をくれる近所の会社」など【生活】を伴う景観

#### アンケート回答(例)



▲“あえて”周縁部の景観をピックアップ

### 2班テーマ 「大人も子どもも『キレイ』に感じられる自然スポット」

#### 主な意見

- 深大寺周辺に「キレイ」と感じる景観が多く集まる傾向がある。
- 「橋からの夕日」や「キャベツ畑」等、生活の中で形成された景観もキレイと感じられることが多い。

#### 特徴・傾向

- ① 大きく残る自然)  
大きくまとまって残る自然ならではの「ゆとり」「癒し」
- ② 街中に映える色彩)  
点在する畑の緑や街中の花壇など、都会的な風景の同居
- ③ 遠くの景観がキレイに見える)  
富士山や多摩川越しの朝日や夕日など、遠くに存在するものを身近に感じる体験

#### アンケート回答(例)



▲深大寺周辺、多摩川沿いに集まる「キレイ」

### 3班テーマ 「わくわく」

#### 主な意見

- 商業施設から公園、神社など様々な施設に対する回答があった。
- 「キレイ」「楽しい・遊べる」という2つのキーワードをつなぐ感情が「わくわく」ではないか。

#### 特徴・傾向

- 「わくわく」を「好奇心」と捉え、3つのポイントに整理した。
- ① キレイな景観)  
「広い河川敷」「広がる緑」など好奇心をかきたてる要素
- ② 楽しい景観)  
公園や、商業施設の遊戯コーナーなどの非日常空間
- ③ 大きい景観)  
大きな建物で、ミステリアスな雰囲気がある寺社や、視界が大きく開けている田畠等

#### アンケート回答(例)



▲「わくわく」の要素を分解、再構築

### 4班テーマ 「『公園』が私の風景をつくる」

#### 主な意見

- 名前を知らない、小さい公園が多く挙げられている。
- 高架下の公園に関する景観カードがあった。高架下は崖線が形成する高低差が生み出す、調布ならではの景観である。

#### 特徴・傾向

- 子どもたちが景観を知覚する上で「体験」が大きなきっかけとなっている傾向を強く感じた。
- 今回は小学生と中学生の回答が混在していたが、景観の知覚方法は年齢によって異なるため、年代別に分けた試みも有用ではないか。

#### アンケート回答(例)



▲「公園」から読み解く景観の特徴